

CSR(企業の社会的責任)の取り組み

コニカミノルタは、CSRの取り組みを経営そのものと考え、「新たな価値の創造」を通じて社会に貢献し、ステークホルダーの皆さまの共感と理解を得ることにより、社会から必要とされる企業グループを目指しています。なかでも、地球環境保全を経営の根本にすえ、生産、販売、サービスなど事業にかかわるすべてのプロセスで、環境負荷の低減に向けた取り組みを積極的に進めています。

今回は、こうした取り組みの中から生産拠点における認定制度についてご紹介します。



総合的な環境配慮工場を目指す認定制度を開始

当社グループでは、2009年1月から「グリーンファクトリー認定制度」を開始しました。これは、生産拠点に求められる環境配慮を総合評価し、一定の基準を満たした拠点を「グリーンファクトリー」として認定する、コニカミノルタ独自の取り組みです。

これまで、「循環型社会への対応」の取り組みとしてゼロエミッション(排出物量削減)の目標を設定し、達成した生産拠点を「ゼロエミッション工場」として認定していました。その結果、2009年度に国内外の全生産拠点で認定取得を完了しました。

新たな「グリーンファクトリー認定制度」では、環境活動全体のさらなるレベルアップを図るために、「循環型社会への対応」については、より厳しい基準を設定するとともに、「地球温暖化防止」「化学物質リスク低減」にも全社統一基準を定めています。また、効率の高い環境施策を一覧化した独自のガイドラインを作成し、それに沿った取り組みを進めることで、2015年までに全生産拠点での認定取得を目指していきます。

	従来	2009年1月に移行
地球温暖化防止	生産拠点ごとの取り組み 省エネ施策によるCO ₂ 削減	グリーンファクトリー認定制度 省エネ施策によるCO ₂ 削減
循環型社会への対応	認定制度 ゼロエミッション(排出物量削減)活動	ゼロエミッション(排出物量削減)活動
化学物質リスクの低減	生産拠点ごとの取り組み 有害化学物質の削減	有害化学物質の削減